

予 算 要 求 資 料

令和4年度当初予算 支出科目 款：商工費 項：観光費 目：観光開発費

事業名 **新**岐阜県版サステイナブル・ツーリズム推進事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

商工労働部 観光国際局 観光企画課 サステイナブル・ツーリズム推進係

電話番号：058-272-1111 (内 3149) E-mail：c11334@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 4,670千円 (前年度予算額： 0千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	4,670	0	0	0	0	0	0	0	4,670
決定額	4,670	4,670	0	0	0	0	0	0	0

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

コロナ禍において、生活スタイルの変化とともに、旅行の目的や嗜好も変化しており、アフターコロナにおいて本県が「選ばれる旅先」となるためには、他地域との差別化が不可欠である。そのため、本県の強みである「自然」「伝統文化」「匠の技」など先人から受け継がれる資源を活用し、SDGsの理念に即した新たな旅のスタイルの提案が重要である。

そこで、「サステイナブル・ツーリズム (持続可能な観光)」の国際的な評価を得るため、UNWTO (国連世界観光機関) が進めるINSTO (International Network of Sustainable Tourism Observatory) への加入や、本県独自の指標の設定及びそれに基づく取組みを進め、名実ともに世界から選ばれる観光地を目指す。

(2) 事業内容

- ・INSTO 加入申請のためのレポートの作成
- ・県内関係者の調整、意見交換、合意形成
- ・専門家からの助言、意見聴取

(3) 県負担・補助率の考え方

国の重要政策に位置付てられる「サステイナブル・ツーリズムの推進」は、県が率先して実施すべきものであり、県負担は妥当

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
旅費	146	専門委員、職員出張旅費 等
委託料	4,524	委託費
合計	4,670	

決定額の考え方

財源については、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を充当します

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

「清流の国ぎふ」創生総合戦略

3 地域にあふれる魅力と活力づくり

(2) 次世代を見据えた産業の振興

④観光産業の基幹産業化

(2) 後年度の財政負担

県が率先して実施すべき事業であり、次年度以降も継続

事業評価調書（県単独補助金除く）

<input checked="" type="checkbox"/> 新規要求事業
<input type="checkbox"/> 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 アフターコロナにおける「選ばれる旅先」となるため、サステイナブル・ツーリズムの先進地としての国際認証取得など、他地域との差別化を図り、観光誘客及び観光消費額の増加につなげる。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R)	達成率
						%
観光消費の経済波及効果						%
観光入込客数（実数）						%
外国人延べ宿泊数						%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	・取組内容と成果を記載してください。
令和3年度	令和5年度当初予算にて追加 <hr/> 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加 <hr/> 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・ 事業の必要性（社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断） 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</p>	
(評価)	
<p>・ 事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない</p>	
(評価)	
<p>・ 事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</p>	
(評価)	

(今後の課題)

<p>・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 持続可能な観光地づくりに対する地域の理解促進及び機運醸成</p>

(次年度の方向性)

<p>・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 持続可能な観光地づくりに向け、指標に基づくモニタリングを継続するとともに、現状分析・課題抽出・改善のPDCAサイクルを回す。</p>
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課</p>	
<p>組み合わせる理由や期待する効果 など</p>	